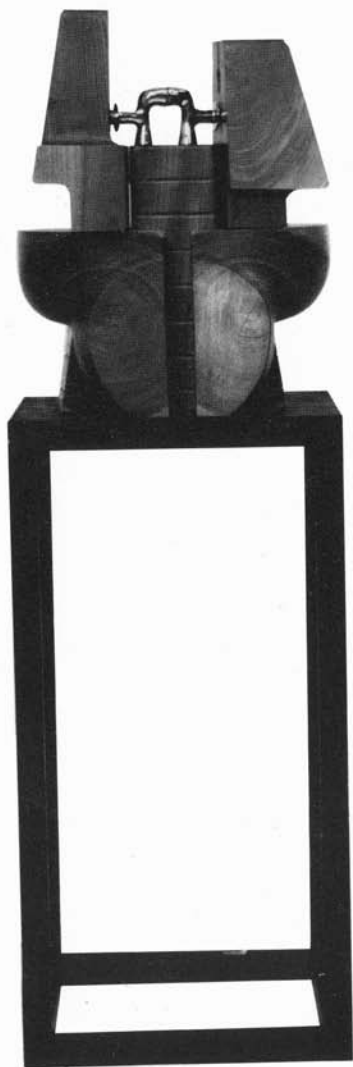


第六回

中  
日  
展



漁野真理子　ダイレクト・メール



JOSE VANEGAS　DON'T TOUCH HERE



原田砂織　絆(きずな)

昭和59年(1984年)9月9日(日曜日)12版 [18]

(第3種郵便物認可)



金沢美大に留学中、初入選を果たしたホセ・パネガスさん

## マヤ遺跡がヒント

ホセさん

ホセ・パネガスさんは南米のコロンビア共和国出身の留学生。金沢美術工芸大学の美術学科で彫刻を専攻している。

パネガスさんは母国の首都ボゴタの国立芸術大学で七年間学び、昨年の三月、帰った

文化の違った造形を求めて来日した。半年間大阪外語大で日本語を学び、ちょうど二年前の九月、文部省のはからいで、金沢にやってきた。

母国では個展も四回開き、実力が認められているパネガスさんだが、日本の公募展に

出品するのは、この中日展が初めてだった。結果は、同じ大学で彫刻を学ぶ友人の原田昭雄さん(三二)と一緒に入選。「グッドラック」と喜び合った。

出品作は、木とパイプを素材にした高さ五十七センチの立体造形で、DONT TOUCH HEREと名付けた。古代マヤ文明のピラミッドのイメージをヒントに、鋭角と丸味という形状の対比の面白味をねらった。制作期間は一月だが、構想は一年前からあったため続けていた。

金沢は「日本の伝統が多く残されている。人々も大都市より礼儀正しくて親切」だそう。